

逆転で初戦突破



初戦突破。校歌斉唱後、スタンドにあいさつに向かう作新ナイン＝甲子園

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
倉敷商	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
作新	0	4	1	1	0	0	1	0	×	7

センバツ 大谷、粘りの完投

第84回選抜高校野球大会
第3日は24日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で1回戦3試合を行い、8年ぶり9度目の出場の作新は第2試合で倉敷商(岡山、22年ぶり3度目)と対戦、7―3で逆転勝ちし、2回戦に進出した。作新は28日の第2試合(午前11時半開始予定)で鳴門(徳島、32年ぶり7度目)とベスト8入りを懸けて対戦する。

雨の中始まった試合で、作新のエース大谷樹弘はいきなり3連打で無死満塁とされると、併殺の間に1失点。二回には2安打にバツテリーエラーが絡み0―3とされた。

しかしその裏、2死満塁から羽石裕紀が右前へ2点適時打。石井一成主将の幸運な一塁内野安打で逆転した。三回には2死二塁から浅野壮也の中前適時打で加点。四回にも2死から高山

良介の左越え二塁打で6点目を奪うと、七回にも1点を加えた。

大谷は立ち上がりは雨の影響もあって不安定だったが、三回からストリート中心の組み立てに変えて立ち直った。テンポのよい投球でストライクを先行させ、追加点を与えなかった。

選抜での同校の勝利は2000年の72回大会2回戦で佐賀商(佐賀)を8―1で下して以来、12年ぶり。県勢としては07年の79回大会1回戦で佐野日大が大牟田(福岡)を7―0で下して以来、5年ぶり。

よく見て打った

作新・小針崇宏監督 大谷(樹弘)は逆転してから修正し、自分のピッチングを取り戻した。(攻撃は)ベースの上で変化するボールを、よく見て打ってくれた。

倉敷商・森光淳郎監督 初回、二回はしっかり打てたが、二回の連係ミスが響いた。4失点目が本当に悔しい。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座00350-0-407

©下野新聞社2007

読者室 028-625-1179

(受付・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売局 028-625-1120

広告局 028-625-1133

事業局 028-625-1134

下野新聞社ホームページ

<http://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外

フリーダイヤル

0120-810081

下野新聞購読お申し込みは

栃木のニュースを携帯でも!!

下野新聞
SOON

月額262円



下野新聞

検索